

研究実施のお知らせ

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター病院では、文部科学省、厚生労働省および経済産業省が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則り、以下の研究を実施します。

■研究課題名

日本とアジア諸国における接触行列の最適化(前課題名:日本における接触行列の最適化)

■研究の意義・目的・方法

インフルエンザや新型コロナウイルス感染症など、呼吸器感染症の拡がりを理解する上で「どの年齢層の人間が、どの年齢層の人間と、どの程度の頻度で会話や身体的接触をしたか」は大きな意味を持っています。この情報が欧米においては流行の予測に広く使われてきました。日本にも僅かながらデータが存在しますが、その細部にいまだ改善の余地を残しています。

例えば休日と平日、季節などにより人と人が接触する頻度は変わりますし、病気などで体調を崩している際には他人との接触頻度も低下すると考えられます。アジア諸国ではこの点を検討した研究が存在しないため、これを調査するのが本研究の目的です。

本研究はインターネットを通じたアンケート調査で実施されます。

■研究の期間

研究実施承認日から 2027年3月31日 まで

■研究の対象となる方

- 1) 調査実施前日の時点でかぜ症状(ここでは38度以上の発熱、咳嗽、喉の痛みのどれかひとつ以上がある状態を指す)があり、調査への回答を同意された方
- 2) 2週間後に行う追加調査への回答を了承された方

■ご協力いただく内容

質問票調査により参加される方は基本的な属性(教育水準、業種等)をご回答いただいた上で、「一日に何人の人間と会話または身体的接触があったか」についてお答えいただきます。接触のあった人数については年齢層ごとに記録します。

二週間後に追加調査を行い、他者との接触について同様の質問を行うとともに、かぜ症状の原因となった疾患が何であったかもお答えいただきます。

また、未成年の同居者でかぜ症状を呈していた方がおり同意いただける場合には、未成年の同居者について同様の質問に代理でお答えいただきます。

■研究計画書等の入手・閲覧方法・手続き等

あなたのご希望により、この研究に参加してくださった方々の個人情報の保護や、この研究の独

創性確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくか、文書でお渡しすることができます。希望される方は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

■ 研究参加への同意と撤回について

調査開始前に Web 上の「回答に同意する」ボタンを選択していただくことで本研究計画に同意いただいたものとします。回答終了後の同意の撤回はできませんが、回答中は回答を中断することで同意の撤回が可能です。

■ 研究の資金源と利益相反について

本研究は令和 5 年度厚生労働行政推進調査事業費補助金(新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業)薬剤耐性(AMR)アクションプランの実行に関する研究(20HA2003、23HA2002:研究代表者 大曲貴夫)文部科学省科研費基盤 C・20K10546「多施設インフルエンザ患者レジストリを用いた疫学研究」、国際医療研究開発費 20A05「低中所得国におけるアウトブレイクへの準備・対応・予防能力向上としての医療関連感染症対策の確立のための研究」、国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)未来社会創造事業「異分野共創型の AI・シミュレーション技術を駆使した健全な社会の構築」、文部科学省科研費基盤 B・23H03175「インフルエンザ様疾患による疾病負荷の包括的評価」、国際医療研究開発費 23A05「アジア諸国の社会的接触に関する研究」にて行います。

現時点で本研究における利益相反はなく、定期的に利益相反状況を NCGM 利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理した上で研究を実施します。

■ 研究責任者:

(所属) 国立研究開発法人国立国際医療研究センター病院
国際感染症センター応用疫学研究室医長
(氏名) 都築 慎也

■ 問い合わせ先

機関名	国立国際医療研究センター病院
住所	東京都新宿区戸山1-21-1
電話	03-3202-7181(代表)
担当部署	国際感染症センター
担当者氏名	都築 慎也
メールアドレス	stsuzuki@hosp.ncgm.go.jp